



=夏休みの過ごし方=
2025・夏

校長 林 要喜知

専門学校の授業はカリキュラムが非常に密度高く構成されており、日々の学びに真剣に取り組んでいる皆さんにとって、ようやく夏休みを迎えられることに、ほっと一息ついている方も多いことと思います。大学と比べると夏休みは短く感じられるかもしれませんが、その限られた時間をどのように過ごすかは、皆さんの今後にとって大変意義のあることです。

私自身の学生時代を振り返ると、夏休みというと「何も考えずにただただのんびり過ごしていた」記憶がありますが、その一方で、親や兄弟姉妹と普段よりも多く話をする貴重な時間でもありました。どのように過ごすにしても、この夏休みは、無理をせず健康に注意し、規則正しい生活を送っていただきたいと思います。

また、普段はなかなかできないことにも、ぜひ挑戦してみてください。その経験がきっと、これからの学びや人生に良い影響を与えることでしょう。

休み明けには、元気な皆さんにまた学校でお会いできるのを、心より楽しみにしています。

理学療法学科 学科長 吉 田 幸 史

夏季休業中は暑さで勉強の気持ちは萎えると思われますが、朝・夕の比較的涼しい時に前期の復習をしてください。また、興味はあるが調べるのに時間がかかりそうと思っていた分野の理解をすることも有用だと思います。どの学年も後期の方が基礎学力がないと理解しにくいものが多いです。その為に前期の復習を中心に修学を進めていくと今後に有効です。

また、勉強とは関係ないがやりたい事があれば、勉強と並行して行動を起こしてみてください。皆さんの今後の人生の宝となることがあります。

作業療法学科 学科長 川上 和敏

当校の夏休み期間は大学と違い短期間（1ヵ月程度）しかありません。旅行やイベント、アルバイト、ボランティア、運転免許取得など様々な予定を計画している学生もいると思います。非日常的な経験がしたいと考えている学生は前もって計画を立てないとあっという間に過ぎてしまいます。

当学科では学生に対して夏休み中の宿題や課題はありません。家族と旅行したり、友人と遊んだり、勉強したり、将来のことを考えたりすることも自由です。無目的にダラダラと過ごす学生もいると思いますが、せっかくなので何か目標をもって自身でスケジュールを組み立ててみませんか。

小さな目標であっても達成感が得られるような体験やそのために段取るプロセス自体が貴重な経験となるはずです。健康に留意して、充実した夏休みをお過ごしください。

看護学科 副校長 澤 田 みどり

看護学科の皆さん、夏休みの過ごし方。

短い夏休み、思いっきり休んでください。おいしいと思うものを適度に食べて、いつもはやれなかったことを、やってみましょう。でも感染と事故、予期せぬ結果には気をつけてください。無茶のやりすぎも注意。おなかとおしりは冷やさないこと。プライベートゾーンはしっかり守ってください。あなたの健康は、みんなの健康。心と身体を健康を保ち、元気で笑顔で会いましょう。待っています。

保護者の皆様、皆様のお子様たちは前期の学校生活、学びに、演習、実習と頑張りました。ここで一息、コーヒーブレイクの休みです。無茶のない程度のお休みを見守ってください。

看護学科 学科長 鳴 海 繭 花

令和7年度を迎えて、はやいもので4か月たちました。夏休みを心待ちにしていた方も多いのではないのでしょうか。夏休みは、これまでの学習の総復習！というのは、みなさんも分かっていることだと思います。それに加えて、たくさんの方と触れ合ってもらえればと思います。多くの人との出会いは、医療職者を目指すみなさんにとって、自身の考えを深めるうえでとても役に立ちます。年齢を問わず、いろいろな方の人生と触れ合いを意識してもらえればと思います。

夏休み明け、元気にみなさんと会えることを楽しみにしています。